

第2458回例会 逗子ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2012-2013 No.18 2012年11月8日



会長◆岩瀬浩人
 会長1外◆石田 隆
 副会長◆山口 哲
 松井一郎
 幹事◆山本三津子
 S A A◆矢部光治
 会計◆市川 浩
 直前会長◆三宅 謙
 会報委員長◇臼井 浩

例会日：第1・2・4 木曜日 12:30
 第3 木曜日 18:30
 第5 木曜日 18:00
 例会場：「カンティーナ」
 逗子市新宿 1-3-35
 TEL：046-870-6440
 事務所：逗子市逗子 1-9-26
 萬屋ビル 2F
 TEL&FAX：046-873-0226

本日の進行(12:30)
藤吉一哉 会員
「人生 義理と人情」
 一次回のお知らせ—
11月15日(18:30)
葉山RC・逗子RC
合同例会

E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp

Website: <http://www.zushi-rc.com/>

《第2457回 例会記録 2012年11月1日》

出席報告	会員数 51 名(出席免除 6 名)	出席数 33 名	出席率 67.35%	前回修正出席率 84.78%
ゲスト：2780 地区菅原光志ガバナー・慶松憲三ガバナー補佐			ビジター：石渡好行地区大会委員長・浜田淑子副実行委員長	

会長の時間 岩瀬浩人会長

《「国家破産」の心配》

政治家、官僚たちの限りなき私利私欲、大いなる貪りが、国を食いつぶして国家破産をもたらすのである。しかし、昭和21年に、日本はすでに一度破産している。莫大な戦費を賄うために国が大借金を作ったからだ。このとき、国民が買った国債は紙クズとなり、貯金封鎖、新円切り換えなどで、国民は資産を収奪されたうえ、ハイパーインフレで多くの苦しみを味わった。わずか66年前のことであった。

そしていま、日本は再び破産の危機がきています。返済不能の大借金を作って、借金を増やし続ければ破産するのは当然のことです。この道理は家庭においても企業においても、国家においても同じです。ただ、会社は破産すれば消滅するが、国家は消滅するわけにはいかない。そこで国家が破産すればそのツケはすべて国民にまわされ、国民生活破壊という悲劇がおこるのです。具体的な借金額、そして返す方法について書くと大きな問題ですので皆様に考えていただきたいのですが、いったい何年掛かるといいますか？まだ、海外から多くの借金をしてないから良いのではという考えは甘すぎる。

いずれにせよ、言い方を変えれば日本人、我々はそこまで資産を残さないことになる。株も危ないし、何がいか、金の現物が海外で認められるだけ預貯金を移すか。まさしく今は死期のせまった病人が「けさは熱も下がって気分がいい」といっているのと同じではありませんか？まして、巨大地震、津波が発生すれば国家破産も同時に起きませんか？心配するときがありませんが、何か自分の資産は自分で守らないといけない、ただ銀行に預けておけばいい時代は終わったと最近思います。

報 告

- ◇ イターアット海外研修費支払いの件 ・ Rの友紹介
- ◇ 地区大会にて表彰 ①長寿会員 桐ヶ谷・毛利会員
 ②昨年度・会員最高の増加率 ・ 最多数の新会員入会



会員増強の立役者
 三宅前会長・藤吉前幹事



石渡好行地区大会委員長、浜田淑子地区大副実行委員長（鎌倉RC）が、地区大会成功・協力のお礼に。

ようこそ！ 京都紫野RCの皆様

山田 英夫会長	田中安比呂直前会長
塚本 誠一次年度会長	柴田 鉄也副会長
内藤 誠 幹事	渡邊 健次会計理事
小林 俊亮クラブ友好委員長	足立 健司社会奉仕理事
倉田 義宥国際奉仕理事	小林毅圭也クラブ 友好委員
中川 淳 親睦委員	伊原 義男親睦委員



元気あるクラブとはどのようなクラブを言うのでしょうか。

「ロータリーでは、例会にただ出席しているだけでは駄目である。社会のニーズに対して奉仕の理想に燃えて、前向きの姿勢で、取り組めるような精神、肉体、そして社会的適応をもっていかなければならない。」という

ことになるでしょう。要するにアクティブな「やる気」のあるロータリアンでなければならないと思うのです。ひとりでも多くの会員が「やる気」があればクラブは元気になってきて、クラブの活性化に繋がっていくのです。

活性化しているクラブとは

「例会の出席率が高い」「会員増強が良くできている」「退会する会員が少ない」「いろいろな奉仕活動に出席される会員が多くいる」「親睦活動が良くできている」「会員のバランスがとれている」「若い会員が多い」クラブであり、そしてロータリーのところを理解して活動していけば、活性化に繋がっていくことでしょう。

ロータリーのところとは

世の中は時代が変わるとともに、ロータリーも変革を繰り返しております。しかし変わってはならないものは綱領で強調されている「奉仕の理想」と「親睦」であります。

ロータリーには二つの奉仕理念があり、そのひとつは職業奉仕の理念であり「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」であり、ロータリアン^oとして職業を通して、四つのテストを軸に入びとに奉仕し入びとにその心を伝えていく事です。もうひとつは人道的奉仕活動の理念であり、人の為に生きよう。人の為に何かしよう。ということです。

親睦とは「友情・友愛」です。お互いに良く知りあうこと、

そしてお互いが尊敬し合えるようになることであり、お互いに「相手の身になって考える」という修練を積むことです。

「ロータリーの親睦は、クラブの中に奉仕の心が、すすくと育っていけるクラブの土壌を作る事であって、単なる親睦で終わってしまってはならない。」従って、本当の意味でクラブの親睦が出来ているクラブは、ベテランロータリアンと新人ロータリアンとの間は極めて良い関係が保たれており、新人は先輩の意見をよく拝聴し、一方先輩も折に触れ後輩の指導にあっております。本当の親睦が行われていれば、クラブ全体がロータリーの奉仕の理想に向って、一丸となって活動され元気なクラブになることでしょう。

クラブチームの絆、仲間意識がクラブの発展に

オリンピックの水泳競技で背泳ぎの入江選手が銀メダルをとってスピーチした内容は「銀メダルは私がとったのではなく、27名のチームメイトがチームの絆、仲間意識があり普段からの応援や協力があればこそ。明日のメドレーリレーは、北島さんに何も持たせないで、日本に帰す訳にはいかない」。絆を持って力を出し切ったその結果、男性は銀メダル、女性は銅メダルをとりました。まさにチームの絆と仲間意識の勝利だと思います。このことはロータリークラブに当てはまる事が出来ます。会員がクラブチームの絆、仲間意識をひとり一人がもつことからクラブの発展につながり、元気なクラブにつながっていくのではないのでしょうか。

「例会」は会員の憩いの場であるべきで、一人一人が楽しくなるための例会づくりへの努力が大切です。新会員の積極的な参加を促し、素晴らしい逗子ロータリークラブが是非そのお手本を示して頂きたいと思えます。

気さくなお人柄の菅原ガバナーのユーモア溢れる卓話の中に「会員相互の強い絆が何よりも大切」と言う熱い思いが強く伝わってきました。 宝子山泰久 記

■ニコニコBOX

本日合計¥ 90,000

累計¥946,000

菅原ガバナー…楽しい公式訪問にいきましょう。
 慶松ガバナー補佐…本日はお世話になります。
 石渡好行様・浜田よしこ様…地区大会では大変お世話になりました。お礼に参りました！
 岩瀬君、山本(三)さん、松井君、菊池君、三宅君、石田君、藤吉君、山本(由)君、柳沢君、岡本君、高洲さん、宝子山君、松田君…菅原ガバナー、慶松ガバナー補佐、ようこそ逗子へ。
 鈴木(安)君、桐田君…菅原ガバナー、慶松ガバナー補佐、逗子へようこそ。ご苦労様です。
 福嶋君…ガバナーようこそ。うちの会長ピチピチしてます。
 市川君、毛利君、山科君…菅原ガバナーをお迎えして。
 矢部(房)君…菅原ガバナー、公式訪問有難うございます。
 村松君…ガバナー公式訪問、楽しみです。
 岩佐君、船津君、手島君…菅原ガバナー、ご指導よろしく。

横山君…ガバナーようこそ！アナハイムの話ではなく、日本の“近いうち”の話をお願いします。
 川上君…秋らしくなりました。菅原ガバナー卓話よろしく。
 岩堀君…菅原ガバナーようこそ！海軍も美味しかった！
 草柳君…紅葉の便り聞こえます。ガバナーの卓話に期待。
 橋(武)君…菅原 G、慶松 AG ようこそ。公式訪問になると故山本 G の姿が浮かびます。
 矢部(光)君…11/1 は灯台記念日。菅原ガバナーロータリーの航路に希望の光を！
 山口君…10/27、50周年記念式典を終わりました。皆様のご支援有難うございます。
 桐ヶ谷君…菅原ガバナー、石渡さん、浜田さんようこそ。北斗工業創立50周年おめでとう。
 安藤君…香港は暖かく過ごしやすいかったです。